

自動車メーカーの川下サービス事業展開 「PoC-Proof of Concept」*

自動車アフターマーケット市場は新車販売の約3.7倍の規模に。
OEMとサービス事業者が業界の垣根を越えて競う構図になっています。

コネクティッドカーをはじめ、つながる技術の 進歩により、川下のビジネス規模が拡大

コネクティッドカーの登場、車載インフォテインメントシステムの高機能化など、つながる技術の進歩によって、クルマから収集、配信できる情報の種類、量は、格段に増えています。また、データ通信料やクラウド利用料、センサーをはじめとしたデバイス単価が下がることで、大量のデータを活用しやすい環境が広がってきています。

それらの変化によって、自動車OEMは、従来の車両販売というハード売りから、自動運転、シェアリングプラットフォーム、テレマティクス保険、部品のリアルタイム故障予測など、ソフト面の強い川下の事業領域にリソースをシフトしています。NRIでは、アフターマーケット市場の規模は新車販売の約3.7倍になると見ています。

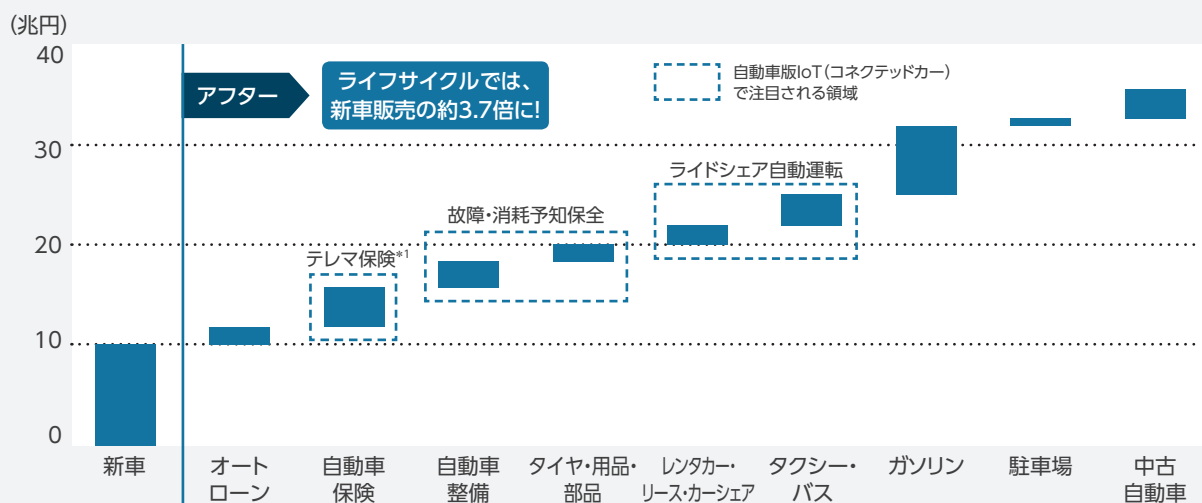
*Proof of Concept (概念実証)

OEMとサービス事業者の競争が激化する中、 川下での勝ち方の検討が必要

一方で、規模の大きな川下の事業領域を巡っては、GoogleやApple、UberやGrabなどのサービス事業者も自動運転やシェアリング・プラットフォームの開発に積極的であり、自動車OEMとサービス事業者が業界の垣根を越えて競う構図ができています。

業界全体が自動運転、シェアリングなど、新たな自動車社会の実現に向けて歩みを加速させる中、高度なサービスモデルとそれを支えるデータ活用のノウハウを武器とするサービス事業者の存在はOEMにとって脅威です。一部のOEMは提携の道に舵を切っていますが、自前の顧客資産、データ資産を活用してどのように川下の領域を取り込んでいくかはOEMの検討課題となっています。

自動車関連の年間小売市場規模(日本)



*1 車の走行距離や走行特性(急発進・急減速等)を収集・分析し、ドライバーの運転特性の評価内容によって保険料を算出する自動車保険
出所) 新車、タイヤ・用品・部品、ガソリン、中古自動車: 平成26年 経済産業省 商業統計表自動車整備、レンタカー・リース・カーシェア、タクシー・バス、駐車場: 平成27年
総務省 サービス産業動向調査自動車保険: 2015年度 日本損害保険協会オートローン: 市場規模は年間信用供与額。金額は新車小売市場規模の20%としてNRI推計

OEMにとって拡大するアフターマーケット市場での戦い方検討は急務

NRIは、コンサルティングとシステムソリューションを融合させ、自動車OEMのデータ活用戦略の策定からPoCまでご支援します。

コンサルティングとソリューションを融合させた「コンソリユーション」でPoCを伴走支援

川下でカーシェアリングや故障予測などのデータを活用したサービスを展開する場合、自社または提携先企業の保有する大量のデータを解析し、アウトプットとして社内で活用可能なかたちにとめるノウハウとリソースが必要です。NRIは、コンサルティング部門とシステムソリューション部門が一枚岩となった「コンソリユーション」の体制で、OEMの川下領域における戦略・ビジョン検討から、社内の分析課題を基にしたユースケースの詳細化、PoCのためのスモールスタート実行計画の策定、分析環境の構築、AIや機械学習を用いた分析代行、新サービスの事業計画の策定に必要なニーズ調査や市場規模推計まで、伴走型でプロジェクトをご支援します。

ケース：新しいサービスメニューを創造し、データ分析のための環境も提供

NRIは、自動車OEM A社の全社横断的なデータ活用を推進する部門を伴走ご支援しました。グローバルな調査ネットワークを活かして、先進的なデータ活用の他社事例調査を実施すると共に、アフターサービス部門をはじめ、技術開発部門や生産現場の声をききながら、新しいサービスメニューをA社と共同で立案しました。また、実際にPoCをまわす部分では、NRIが提携するAmazon Web Services (AWS)をベースにクラウド上にセキュリティを担保した分析環境を構築しました。これによりA社は、各部門が保有する秘匿性の高いデータを外部に流出させずに、社外のデータサイエンティストを活用できる仕組みを整えることができました。

NRIの川下事業展開「PoC」サービスの特徴

